

憂国呆談

season 2 VOLUME 63

今月の憂いコト

新国立競技場の見直しから、
明治日本の産業革命遺産、
広島市現代美術館の展示、
広島サミット開催案まで！

戦後70年の平和記念式典が開催された
広島で行われた憂国呆談。田中・浅田両氏は、

丹下健三が設計した広島平和記念資料館や
比治山にある広島市現代美術館を訪ねながら、
東京五輪のことや戦争のことを語り合った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui



を選んだのに突然それをチャラにして日本人を選び直した閉鎖的な国だつてことになりかねない。さらに言うと、この件のおかげで「建築家の自己満足のために余計な力を使おうな」ってボビュリズムが強まり、結果、ゼネコンだけが残るつてことになれば、最低だね。広島ピースセンターから代々木競技場にいたる丹下健三の仕事なんかは日本が世界に誇る文化遺産なのに、そういう建築文化が圧殺されかねない。

田中 その意味では関西弁で煙に巻いた安藤の会見も「プロフェッショナル」って何ですか、という印象を与えた感が強い。技術や予算については事務方の仕事であるにせよ、委員長なんだからデザイン以外の全体にも目を配らないと。

実は再コンペも国際コンペだから日本人の案が選ばれるとは限らない。世界貿易機関＝WTOの政府調達協定を遵守しない中國やロシアと日本は一緒に国際的に批判されても強行突破して妹島和世や伊東豊雄あたりを起用して突貫工事をしても、20年春に竣工するかどうか綱渡りだ。

バルミラ遺跡を保護できない世界遺産にも、問題あり？

浅田 とにかく、巨大化したオリンピックのビジネスモデルはもう限界だと思うよ。

現にここ数回、五輪を開催した都市は、みんな赤字を背負ってる。いちばんいいのは、東京五輪を返上し、毎回ギリシャで簡素にやろう、ギリシャにおカネがないなら日本が先頭に立つて奉加帳を回すつて言うことなんだけれどね。

田中 自民党と公明党の単独で衆議院の平和安全法制特別委員会で採決をした7月15日は岸信介内閣が60年に退陣した日であり、

1938年に閣議決定で東京五輪の開催返上を決めた日でもあると。永田町という験を担ぐ世界の人たちがなんでその日に採決されたのか不思議だけど、1940年に予定されていた東京五輪を返上した理由は戦争前夜だったからではなく、競技場の建設が間に合いそうもないと判明したからだと齋藤美奈子が書いていた。

それでも、多摩美術大学教授も務める佐野研二郎がデザインした東京オリンピック・パラリンピックの公式エンブレム騒動は「日本の劣化」を象徴する迷走ぶりで呆れてしまうね。

浅田 龟倉雄策がデザインした1964年東京五輪のシンボル・マークも、肌の色の異なるアスリートたちを撮影したポスターも、世界的に見て恥ずかしくないものだつたと思うよ。他方、佐野研二郎の今回のロゴはリエージュ劇場のロゴと酷似している

そもそも、軍艦島なんて、きちんととした記録さえあれば後は朽ちるに任せりやいいと思うよ。（浅田）



田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。



——というか、リエージュのほうが明らかにいい。黑白を反転させるとパラリンピックのロゴになるっていうけど、縦の2本線を「イコール」と読むなんて無理だよ。彼の事務所の担当したサントリーのトートバッグのデザインがネットからコピーしたものだとわかつて撤回されたし、ここまでくるとザハ案どころか佐野案こそ撤回すべきだね。

田中 エンブレムは、バルセロナのデザイン事務所が「3・11」後にスマホの壁紙アプリとして提供した作品にも似ていた。さらには名古屋の東山動物園のシンボルマークも、コスタリカの国立博物館のマークと類似と判明したのはネット社会の検索機能の「成果」とも言える。盗用だ、いや模倣だと訓詁学派のような言葉遊びの応酬になつていて、早い話が亀倉作品と違つて彼の作品には独創性＝オリジナリティが欠落していたんだよ。

桜をモチーフにした招致段階のマークのほうが、凡庸ではあるにせよ、少なくとも東京や日本で開催する印象を与えるものではあった。なのに、パラリンピックのロゴでも後づけの理屈を、したり顔でこねくり回したから自爆してしまった。

浅田 ちなみに、オリンピックほどじゃないにせよ、

世界遺産も利権の温床になつて。世界遺産に意味があるとするなら、破綻国家の文化遺産、たとえばシリアのパルミラ遺跡なんかを国際協力で保護すること。肝心なところに機能しないんだから、世界遺産なんてやめちゃえばいい。ユネスコごときに媚びる必要なんてないんだから。

田中 吉田松陰の松下村塾がなんで「明治日本の産業革命遺産」に入るんだつて話だよね。しかも「産業革命」には光と影が付き物で、軍艦島での強制労働を認めるのが前提だと韓国が主張した。それで日本側が「forced to work」の表現を用いて妥協を図る、弱腰外交だとネトウヨの皆さんのが激怒。すると「強制労働」を意味するものではないと岸田文雄外務大臣が釈明したけど、

「1940年代にいくつかの施設で、意思に反して連れてこられ (brought against their will)、厳しい環境の下で働くされた (forced to work under harsh conditions)」と日本のユネスコ政府代表部大使が発言しているのだから、そりや明白でしょうよ（苦笑）。しかも、「forced to work」を文言に入れさせた韓国のはうが一枚上手で、1965年の日韓請求権協定で国対国の賠償は終わっているが戦時徴用に関する個人の補償請求は担保されているし、一般市民が納得する歴史を文化遺産には刻む道義があると念押しする声明を発表。今回の登録に前のめりだった日本は足下を見られて畳み込まれてしまつたわけだ。

浅田 吉田松陰は兵法学者で、西洋の帝国主義に危機感をもつたせいとはいえ、日本だけじゃ守りにくいかから満州から台湾あたりまで取つちゃえっていう乱暴な議論をしてる。最悪の膨張主義だよ。

そもそも、軍艦島なんて、きちんとした

記録さえあれば後は朽ちるに任せりやいと思うよ。世界遺産になつたんで耐震補強をして残さなきやいけない、それがどれだけ大変かわかつてたのか。

オバマ大統領だつて来たい？ サミットは広島で行うべき。

浅田 今日は広島での憂国呆談つてことで、駆け足でいろいろ見て回った。比治山ではABC（原爆障害調査委員会）を前身に持つ放射線影響研究所と、黒川紀章設計の広島市現代美術館。谷口吉生設計のゴミ処理施設・中工場「エコリアム」。

なかでも丹下健三設計の平和記念公園はやはり傑作だね。コンペだつたんだけど、丹下だけはコンペ区域外の川向こうにある原爆ドームを軸の終点とし、その軸線上に慰靈碑や資料館を配置した。それがなかつたら原爆ドームも保存されてたかどうか。

眞ん中の陳列館（今の本館）がまずできたときには丹下が自分で撮った写真を見ると、まわりは傾いた墓石だらけ。ここから代々木の競技場あたりまでは、丹下は世界的に見ても冴えてたと思うよ。

田中 広島市現代美術館の「ライフ・ワーカー」展も圧倒的な衝撃だった。1974年に当時77歳だった一人の市民が被爆直後の萬代橋の様子を描いた絵をNHK広島放送局に持ち込んだのがきっかけで、1000名を超える被爆者が原爆投下後の街の様子を思い出しながら描いた作品群からの展示。

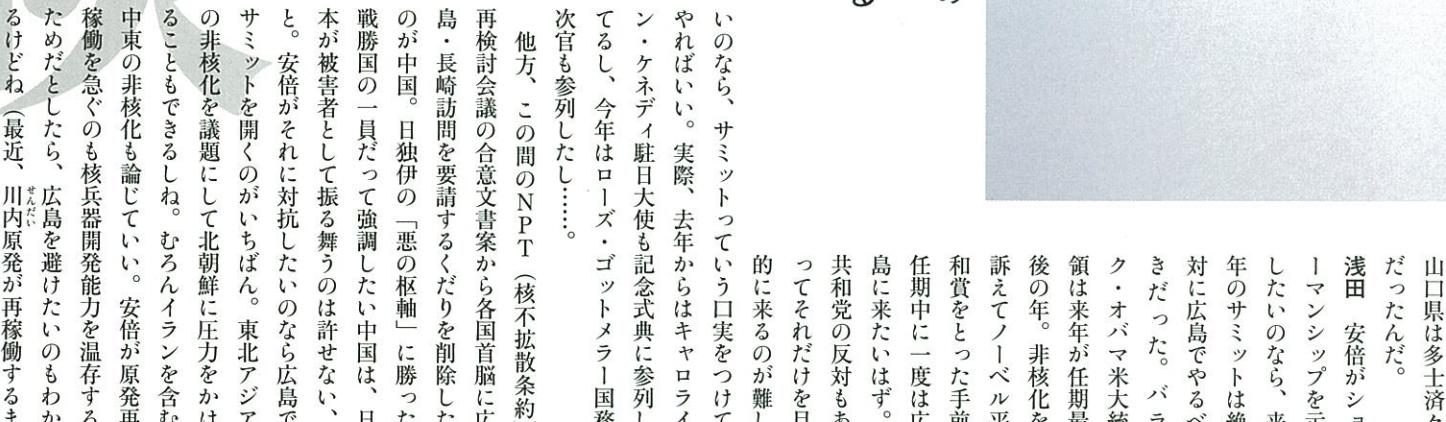
浅田 複写じやなくオリジナルを展示してたのがよかつたね。平和記念資料館じや複写を見せて、今回立ち寄った旧・日本銀行広島支店地下の原爆を生き延びた金庫室での展示にも複写が出てたけど、証言なんだからやっぱりオリジナルでないと。



浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。

京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力一記号論を超えて』はベストセラーに。



山口県は多士済々だつたんだ。

浅田 安倍がショーマンシップを示したいのなら、来年に広島でやるべきだつた。バラク・オバマ米大統領は来年が任期最後の年。非核化を訴えてノーベル平和賞をとつた手前、任期中に一度は広島に来たいはず。共和党的反対もあつてそれだけを目的に来るのが難しいのなら、サミットつていう口実をつけてやればいい。実際、去年からはキヤロライン・ケネディ駐日大使も記念式典に参列しここまでずっと高校の美術教師をしてたんだけど、シベリアを描くに足るマチエールができるまで長いあいだそれを描くことはなかった。彼は赤い屍体と黒い屍体つてことを言つててね。赤い屍体は、彼が実際に見た、満州人にリンチを受けた日本人の皮を剥がれた真っ赤な屍体。黒い屍体は、原爆で真っ黒焦げになつた屍体。

香月は、被害者としての黒い屍体だけじゃなく、加害者としての赤い屍体も忘れちゃいけない、と。

田中 人を助けに行くのでなく、人を殺していく戦争とは、一人の兵士とという人間を加害者と被害者の両者に仕立て上げてしまふ、その無慈悲な現実を痛感させる。実は

田中 広島市現代美術館の「ライフ・ワーカー」展も圧倒的な衝撃だった。1974年に当時77歳だった一人の市民が被爆直後の萬代橋の様子を描いた絵をNHK広島放送局に持ち込んだのがきっかけで、1000名を超える被爆者が原爆投下後の街の様子を思い出しながら描いた作品群からの展示。

浅田 複写じやなくオリジナルを展示してたのがよかつたね。平和記念資料館じや複写を見せて、今回立ち寄った旧・日本銀行広島支店地下の原爆を生き延びた金庫室での展示にも複写が出てたけど、証言なんだからやっぱりオリジナルでないと。

田中 人を助けに行くのでなく、人を殺していく戦争とは、一人の兵士という人間を加害者と被害者の両者に仕立て上げてしまふ、その無慈悲な現実を痛感させる。実は

田中 国教制度のイギリスと違つて、アメリカやフランスは厳格な政教分離で、ここでも一悶着ありそうな予感。善くも悪しくも「勘性の人」だつた小泉純一郎元首相だけたら広島サミット案に乗つただろうにね。

浅田 戦後70年の談話でも、安倍は自分の否定したかった「植民地支配」「侵略」「反省」「お詫び」を結局全部盛り込む羽目に。とはい、それらはすべて歴代の談話からの引用で、自分はそれを踏襲するつて言うだけ。だつたら談話なんて出す必要なかつたんだよ。しかも、最初の段落で「日露戦争は、植民地支配のもとにあつた、多くのアジアやアフリカの人々を勇気づけました」と宣言することで、その後の戦争もその延長線上にあると考へることを匂わせる。

日露戦争は朝鮮つていう潜在的植民地をロシアと取り合つた危ない賭けだつたのに。田中 国内外からの批判を封じようとした八方美人的な言辞を重ねたら逆に、「巧言令色鮮し仁」と「左右」両陣営から口撃されてしまう想定外の展開に陥つてしまつた。

翌15日に街を歩いていたら「号外です」と手渡されて眺めたら、「英靈を冒瀆する『土下座談話』」「冗長で支離滅裂な『惱乱談話』」「河野・村山談話」を超える自虐史觀」と大書きされていてビックリ仰天。どこの新聞だよと思つたら、今や「日本会議」以上に「日本会議」な主張を掲げる幸福の科学が、政教一致で結党した幸福実現党の号外。いやや。とまれ、「安保」「五輪」とどまらぬ日本の「存立危機事態」の深刻さは次号でも引き続き扱わないとね。